

**B 個別学習 (B 1)**

## 主な学習活動

筆者の考えや意見に対して、自分の考えをもちながら文章を捉える。

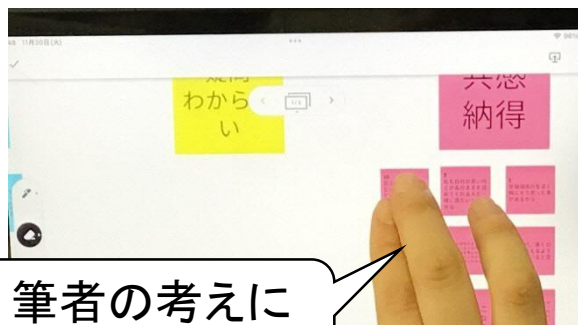
**1 本時のねらい**

文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。

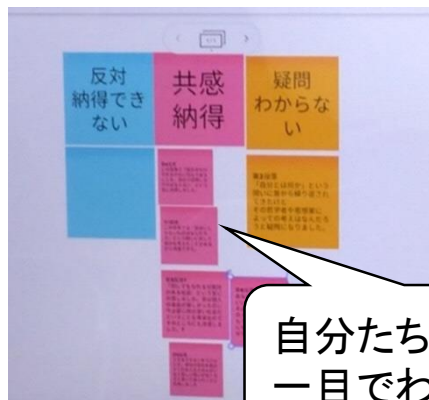
**2 主に活用したICT機器・コンテンツ等****Google Jamboard****3 参考にしてほしいポイント**

Google Jamboardの付箋に直接書き込みを行うことで、画面上で自分の考えを整理することができる。さらに、付箋に書いた内容をすぐに友達や全体に共有することができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	筆者の考えや意見に対して、「納得する」・「納得しない」・「疑問に思う」など自分の考えをもちながら、文章を捉える。	付箋に直接自分の意見を書かせることで、自分の意見を可視化し、容易に分類することができる。さらに、付箋に書いた内容を小集団や全体にすぐに共有することができるため、考えを深める時間を十分に確保することができる。



筆者の考えに共感できる！



自分たちの考えが一目でわかる！

**4 活用効果**

筆者の考えに自分の考えを照らし合わせ、「納得する」・「納得しない」・「疑問に思う」の3つに分類する過程を通して、自分の考えが一目で把握できるという効果が得られた。さらに、友達の見えもすぐに見ることができるため、自分の考えを形成するための時間を十分に確保できた。

**5 アドバイザーからのコメント**

文章を読むと、人によって様々な印象を持ちます。さらに、他人の意見を知って、自分の意見も変わります。その変容を、表示したり、移動したりすることが、道具を使うことによって、容易にできます。特に、写真のように、手で移動できることが、優れています。(東京工業大学 赤堀侃司)

付箋型アプリは手軽に共有できるのがメリットです。その反面、後ほど誰が作業したかがわかりにくいいため、個別の意見として区別するために氏名を記述するなど工夫が必要となります。また、テキストデータとして活用したい場合は、スライド・ドキュメントアプリを用いると便利です。(福島大学 平中宏典)